

LipoTEST Case Report Vol.8

2010年3月

Case8: メバロチンにより複合型脂質代謝異常が改善した猫の症例

【Profile】

・動物種: 猫
・年齢: 10歳
・品種: アメリカン ショートヘア
・体重: 7kg
・B.C.S = 5/5 (肥満)
・性別: 雄 (去勢済み)

病歴:
食欲不振、嘔吐の症状で来院し、内視鏡検査、試験開腹、膵・肝検査を実施。膵臓は正常であったが、肝臓には水腫様変性を認めた。重度の肥満。



【検査】

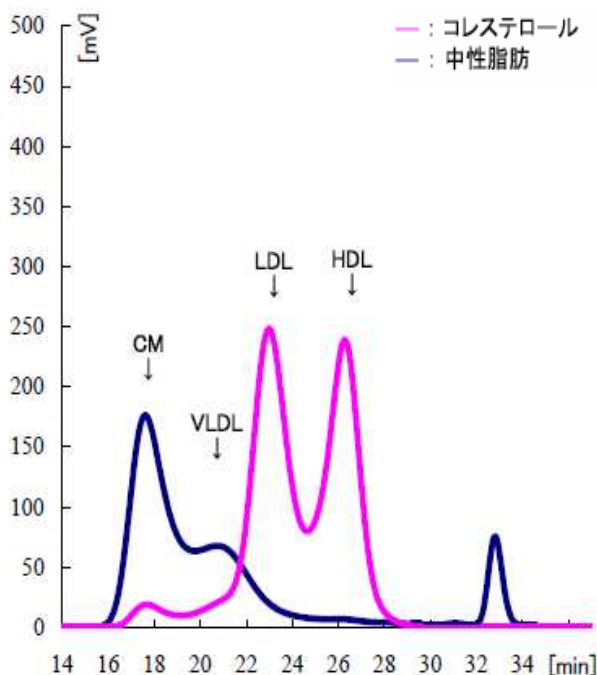
院内検査
身体検査
・体温、聴診、腹部触診では異常なし。

血液検査
・T-Chol、TG、血清リパーゼの異常高値、乳白濁血清がみられた。

LipoTEST検査所見 (1回目)

分類: パターン4・複合逆転型

・コレステロールの詳細解析の結果、LDLがHDL-Cholよりも高い異常値を示した。
・中性脂肪も、CM、VLDL-TGが異常高値を示した。



【治療計画】

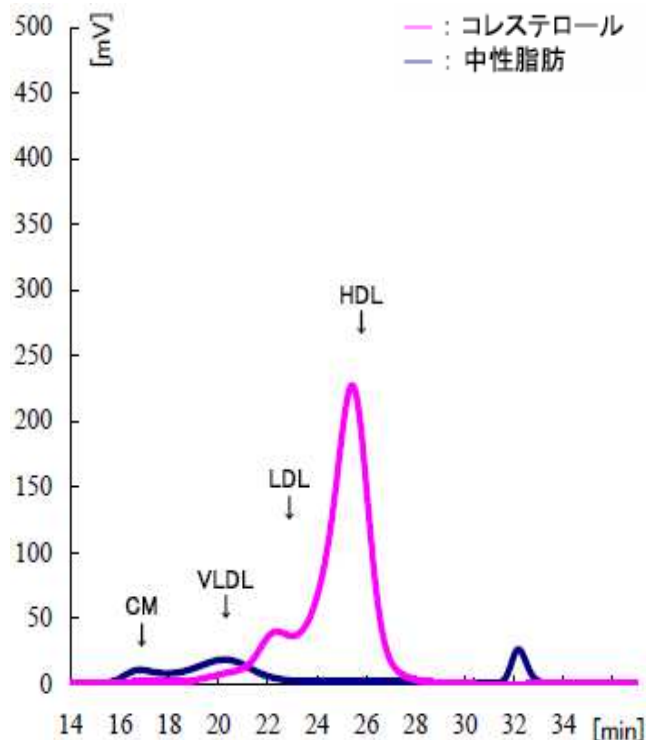
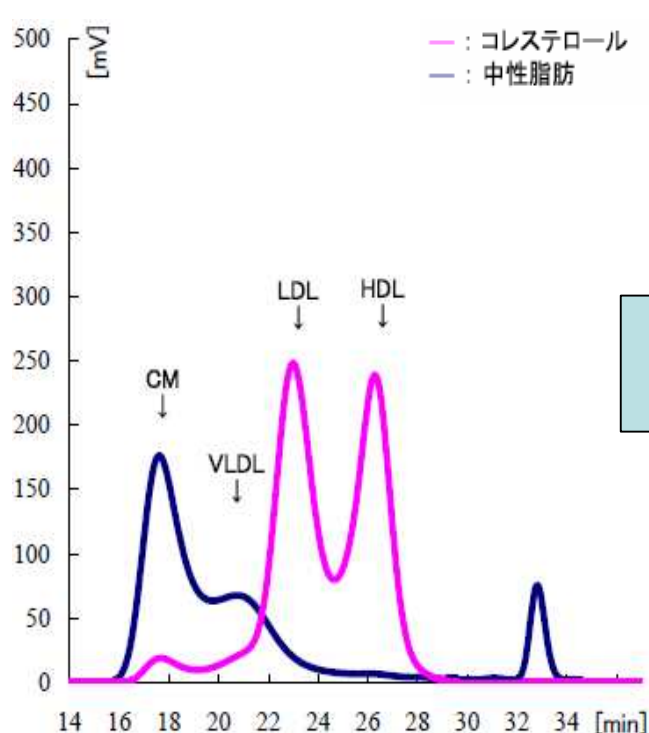
- ・血液検査とLipoTESTの結果より、特に高LDLコレステロールと高CM・VLDL中性脂肪を特徴とする複合型の脂質代謝異常であることが判明した。
- ・脂質代謝異常改善のためメバロチン(プラバスタチンナトリウム)を0.5mg/kg・day 投与し、同時に体重減少を目的とした食事・運動療法を実施し、後日再検査を行った。

裏面に続く

【LipoTEST 波形データの変化】

～ 1回目結果 ～ 第7病日

～ 2回目結果 ～ 第182病日



【解析結果に基づく治療への評価】

- ・ 今回の症例では、脂質代謝異常の猫においても、治療薬の投与によって代謝が改善した。
具体的には、メバロチン投与により投薬2週間でT-Choが328 219mg/dL、TGが876 77mg/dLと改善し、LDL-ChoやCM・VLDL-TG等の詳細分画の値も正常化した。
- ・ 猫における脂質代謝改善薬剤の使用例の報告は犬に比べると依然少ないため、副作用等十分に注意し投与する必要がある。

症例提供:みのり動物クリニック 柴藤徳洋 先生 (東京都)

LipoTESTに関するお問合せ先
スペクトラム ラボ ジャパン 株式会社

* 検体送付キットの請求は、下記記入のうえ、FAX (03-5731-3631)にてご返送下さい。

病院名		氏名	
住所		TEL	

詳しい情報に関しては、LipoTEST Webをご覧ください。URL: <http://www.lipotest.jp/>